



「練馬区教育委員会不登校対策方針」を策定

と き 平成 29 年 4 月方針策定

練馬区教育委員会は、練馬区立学校児童・生徒の不登校に係る諸課題に対応するため、「練馬区教育委員会不登校対策方針」を策定しました。

学校関係者、保護者および区民に周知し、児童・生徒の不登校対策の充実を図ってまいります。

【不登校対策方針について】

(1) 不登校対策の理念

一人一人の状態に寄り添う 一人一人の自立を助ける 一人一人を人や社会につなげる

(2) 四つの柱と対策（：新たな取組）

1 未然防止～新たな不登校児童生徒を生まないために～

- ・新たな不登校を発生させないために、人間関係形成力を高める授業プログラムを実践
- ・不登校児童生徒の支援者の資質向上に向けた研修内容を再構築
- ・児童生徒の不安・悩みを早期発見する仕組みや情報共有を図る学校内委員会のあり方を検討
- ・学業不振による不登校防止のため「地球未来塾（ 1）」活用による学力定着取組を強化

2 初期対応～登校渋り、遅刻・早退増加者を不登校にさせないために～

- ・教育相談と初期対応充実のための新たな職設置を検討
- ・スクールソーシャルワーカーを中核にした早期登校支援チームを設置
- ・「児童生徒支援シート」の開発と教育委員会への報告・確認・支援システムを開発

3 再登校支援～学校復帰につなげるために～

- ・適応指導教室（ 2）のあり方を再検討
- ・ITを活用した自宅学習コンテンツと仕組みを開発
- ・フリースクールと教育委員会の連携会議を設置

4 社会につながる支援～全欠席の児童生徒や家庭と連携できないケースのために～

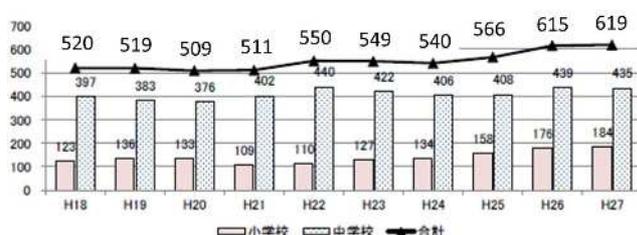
- ・関係者会議により「児童生徒支援シート」システムを活用し支援を実施。本人・保護者同意がなくても支援可能となるチェックリストを開発
- ・スクールソーシャルワーカーを家庭訪問型に変更し、継続した本人・家庭支援を実施

1 地球未来塾：放課後や土曜日、夏休み等長期休業日に、学校の空き教室等を使って、大学生や教員OBが、個別指導等を行う学習支援事業

2 適応指導教室：不登校の小学生向け「フリーマインド」は、個別学習、教科等を学ぶ集団学習、集団学習、スポーツ活動、遠足、心理面談などを実施。中学生向け「トライ」は、学年別クラスの宿泊行事や料理活動・相談活動を実施。

（平成 27 年度登録者数「フリーマインド」62 人、「トライ」165 人）

【参考】不登校の児童・生徒数の推移（過去 10 年間）



【平成 27 年度の不登校数 619 人の内訳】

